

1 単元名 「町のひみつ」はっけん！
内容（3）「地域と生活」

2 単元について

単元設定の価値

本単元では、小学校学習指導要領の内容（3）を受け、地域に関わる活動を通してそれらのよさや特徴を見つけ、親しみや愛着をもちながら、地域の中での自分の適切な関わり方を身に付けることを目指している。単元の導入では、学区にある、おすすめの場所や気になる「もの」、「こと」を、学区地図に付箋を貼りながら交流する。子供たちは、公園探検や学区探検の道中で見つけた物やよく利用する場所を多く挙げると考えられる。そこで、町に興味をもち、「町にはもっとたくさんの素敵なものがあるのではないかと予想し、さらに多くの町の魅力を発見する「いいね！」を探すために、2回目の学区探検に行く。探検では、子供が見つけた「もの」や「こと」の裏にある秘密を探る活動を展開することで、町の人々の存在があることに気付かせていきたい。そして、「この公園はどうして、いつもきれいなのだろうか」と投げかけることで、子供の「町の人に話を聞きたい」という意欲が高まるようにしていきたい。町探検では、町の人から話を聞いたり、仕事を見たり一緒に体験したりすることで、町の人々の工夫や苦労を実感をもって知ることができるだろう。また、町の人々が公園を整備していることや、毎年六年生の卒業や新一年生の入学を祝うために手作りの風車を飾っているといった事実に触れることで、子供たちは、町の人々の温かい思いを感じ、町に対する親しみや愛着をもつことができる。そして、単元のまとめでは、「町のよさをいろいろな人に伝えたい」「町の人にお礼がしたい」という意欲が高まった子供たちが、自分の考えた方法で思いや願いを表現できるようにしていきたい。このように、町の人々の思いに焦点を当てた学習を展開していくことで、子供たちが進んで町の人たちと交流し、町のよさを大切にするためにできることを考え、行動する態度を養えると考えられる。

生活科の見方・考え方を生かす学びの姿

本単元の見方とは、町探検を通して、町と自分がどのように関わっているのか捉える視点のことである。そして考え方とは、「町のよさを知りたい」という願いを実現するための方法を考えていくことである。町の人々の工夫や思いを想像する学習の中で、町の人々の思いや支えが、様々な形で自分に関わっていることに気づき、町の人と自分とのつながりを実感できるようにしていきたい。そのために、まず、自分が「気になる」、あるいは「知っている」場所や物について共有し、話し合う場面を設定する。この時に、共有した場所や物について、「だれが」「なぜ」「どのように」という問いが生まれるような声かけの工夫をする。その問いの答えが「町のひみつ」となり、子供が「町の人に聞きたい」「自分の目で確かめたい」という意欲をもって、町探検に行けるようにしたい。探検では、町で働く人の職場を見せてもらったり、インタビューをしたりする体験活動を行う。町探検の様子をタブレットを使って記録し、体験の中で味わった感動や喜びも一緒に振り返ることができるようにする。また、他のグループの友達に伝える場面で、写真と共に撮影した動画を活用することで、自分が感動した町の人々の工夫や苦労について伝えやすくする。町探検後には、友達や自分の気づきを「人・もの・こと」に分類して整理することで、物に対して注目することが多かった子供の視点を、「人」に変換していく。そして、町の様々な人々の思いや支え、自分の町の安全・安心や温かさにつながっていることに気付けるようにしたい。

3 単元の目標

地域を探検し、様々な人や場所と関わることを通して、地域で生活している人々や様々な場所との関わりについて考えることができ、自分たちの生活は、地域の人々や場所との関わりをもっていることや地域のよさに気付くとともに、親しみや愛着をもって人々に接したり、自分の生活を広げようとしたりすることができるようになる。

4 単元の観点別評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元における評価規準	○地域に関わる活動を通して、自分たちの生活は、地域で生活したり働いたりしている人々や様々な場所と関わっていることに気付いている。	○地域に関わる活動を通して、地域で生活したり働いたりしている人々や様々な場所について考えている。	○地域に関わる活動を通して、地域で生活したり働いたりしている人々や様々な場所に親しみや愛着をもち、適切に接したり安全に生活したりしようとしている。
学習活動に即した評価規準	小単元1 (1) 自分の町には、様々な場所があり、様々な人々が生活していることが分かっている。	(1) 自分が「いいね!」と思う町の「人・もの・こと」について付箋に書いて友達と交流している。	(1) 自分の町の人や場所に関わることに期待をもち、町の「いいね!」を見つけようとしている。
	小単元2 (2) 町の人々に関わる際、相手や場に応じた挨拶や言葉遣いを行っている。	(2) 会ってみたい人やしてみたいことを思い描きながら、町の人と仲良くなる方法を考え、自分のことを絵や文、言葉で伝えている。 (3) 探検先でのふさわしい行動を予想しながら、活動の計画を立てたり約束を決めたりしている。	(2) 町の人や場所に興味をもち、それらと関わろうとしている。 (3) 「町のひみつ」をもっと深く知りたいという思いをもち、町探検への意欲を高めている。
	小単元3 (3) 町の人々の思いや工夫が自分の町を支えていることに気付いている。	(4) 町の場所や人々の工夫や思いが、自分の生活にどのように関わっているかを捉えて、絵や図、言葉で表している。	(4) 自分が見つけた「町のひみつ」に興味をもち、報告会の準備をしている。
	小単元4 (4) 親しみを感じる人や愛着のある場所が町に増え、それらの人々や場所が自分たちの生活を支えていることに気付いている。	(5) 愛着をもった場所や親しくなった人を振り返りながら、自分が知らせたい相手に知らせている。	(5) 町の場所や人々への親しみや愛着をもち、町のよさを大切にしようとしている。

5 単元の指導計画(24時間扱い)

小単元 (時数)	主な学習活動と内容	教師の指導・支援(○)	評価(☆)
<p>一 町にふれる (5)</p>	<p>【小単元の目標】自分の住む町への関心を高めることができるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月の学区探検を振り返り、自分の町の様子に興味をもつ。(1) ・学年で町を散策し、町にある「いいね!」と思うものを見つける。(2) ・学区地図に、探検で見つけた「いいね!」と思うものや気になるものについて付箋を使って書き、伝え合う。(2) 	<ul style="list-style-type: none"> ○学区探検について書いた子供の作文を読んだり、「発見みどりカード」を見せたりしながら、7月の学区探検のことを想起しやすくする。 ○町の様子に興味をもたせるため、子供に自分の町の「いいね!」は何か投げかける。 ○昨年度、町探検を経験した現在の3年生に、町探検でどのような人に出会ったか話をしてもらい、町の「人」に興味をもてるようにする。 ○子供に目を向けてほしいところで足を止めたり、声をかけたりする。 ○探検した場所を振り返れるように、探検で見つけた「人・もの・こと」の写真をTVで提示する。 ○自分が何に目を向けたのかを明確にし、確認するために、付箋を使って自分の見つけたものを色別に「人・もの・こと」に分類する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px; margin: 5px 0;"> 人→ピンク もの→黄色 こと→水色 </div> ○友達に興味をもったものが、町のどこに、どのようにあるのかを共有できるようにするために、黒板に掲示した学区地図に、話合いで出たものについて「いいね!」付箋を貼りながら教師がまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆自分の町には、様々な場所があり、様々な人々が生活していることが分かっている。 ㊸ ☆自分の町の人や場所に関わることに期待をもち、町の「いいね!」を見つけようとしている。㊹ ☆自分が「いいね!」と思う町の「人・もの・こと」について付箋に書いて友達と交流している。㊺

【小単元の目標】 自分のめあてをもって町を探検し、いろいろな町の様子や町の人
の思いに気付いたりすることができるようにする。

・「町のひみつ」を教えるも
らうために、町の人と仲
良くなる方法を話し合
う。【グループ】(1)

・町の人に自分たちのこと
を知ってもらうための準
備をする。
【グループ】(2)

・町の人からの返信をもと
に、その人や町のよさにつ
いて分かったことや思っ
たことを付箋にまとめる。
【グループ】(1)

・町探検の計画を立てる。
【グループ】(2)

○「町のひみつを探りたい」と
いう意欲が高まるように、学
区地図に「? (はてな) 付箋」
を貼って可視化する。

○探検したい場所の希望をも
とに4～5人のグループを
組む。

○これまで学習してきた、相手
と仲良くなる方法を想起さ
せるために、学校探検や1年
生への学校案内の時にはど
のようなことをしたか投げ
かける。

○どのグループも、手紙、電話、
ビデオメッセージ等を通し
て以下の内容を町の人に伝
えられるようにしておく。

- ・自己紹介
- ・探検先と自分との関わり
- ・興味をもった理由
- ・町探検のお願い

○町の人と関わって分かった
ことや新たに疑問に思っ
たことをグループ内で共有し、
聞きたいことを整理するた
めに、付箋を貼ってまとめて
いく台紙をグループに1枚
渡す。

○交通ルールやマナーを意識
するよう、場所や相手に応じ
た適切な態度を確認する。

○町探検では、見て、聴いて、
嗅いで、触って、思ったこと
(なぜ、すてき、すごい、う
れしい)を意識してたくさん
「町のいいね!」を見つける
ことを確認する。

○質問を考えやすいように、
「だれが、いつ、どのように、
どうして、どれくらい」とい
うキーワードを掲示する。

☆町の人や場所に興味
をもち、それらと関わ
ろうとしている。㊤

☆会ってみたい人やし
たみたいことを思い
描きながら、町の人と
仲良くなる方法を考
え、自分のことを絵や
文、言葉で伝えている。㊤

☆「町のひみつ」をもっ
と深く知りたいとい
う思いをもち、町探検
への意欲を高めている。㊤

☆探検先でのふさわし
い行動を予想しなが
ら、活動の計画を立て
たり約束を決めたり
している。㊤

	<p>・計画に沿って探検し、気付いたことをシートに書く。</p> <p>【グループ】(2)</p>	<p>○「町のいいね！」を発見するための視点を意識して活動できるようにするために、「発見みどりカード」の諸感覚のマークに目を向けさせながら全体で視点を確認する。</p> <p>○探検時には保護者ボランティアの方に付き添ってもらい、安全に気を付けて探検できるように配慮する。</p> <p>○探検後に振り返ることができるように、各グループでタブレットを数台持っていき、見つけた「町のいいね！」を撮影するように伝えておく。</p> <p>○町の人々の苦勞や工夫、思いについて考え、気付きが深まるようにするために、実際の仕事や活動の様子を見せてもらえるよう事前に確認する。</p>	<p>☆町の人々に関わる際、相手や場に応じた挨拶や言葉遣いを行っている。㊸</p>
<p>三 町を みつ める (6)</p>	<p>【小単元の目標】町探検を通して気付いたことを振り返り、町のよさについて考えることができるようにする。</p> <p>・付箋に気付いたことを書き、町の人々の工夫や努力をまとめる。</p> <p>【グループ】(2)</p> <p>・グループごとに「町のひみつ」をみんなに伝えるための方法を考え、表現方法を工夫して、準備を進める。</p> <p>【グループ】(2) (国語3)</p>	<p>○自分が何に目を向けたのかを明確にし、確認するために、付箋を使って自分の見つけたものを色別に「人・もの・こと」に分類する。</p> <p>人 →ピンク もの→黄色 こと→水色</p> <p>○町の人を思う気持ちが、様々な事象となっていることに気付けるようにするために、グループを回りながら「なぜ」、「何のために」と投げかけ、発見したことについて理由や目的を考えるようにする。</p> <p>○誰に、(町の人、緑町小のみんな、保護者) どのような方法で (ペープサート、劇、パンフレット、新聞)、「町のひみつ」を伝えたいのか考える場を設ける。</p>	<p>☆町の場所や人々の工夫や思いが、自分の生活にどのように関わっているかを捉えて、絵や図、言葉で表している。㊸</p> <p>☆自分が見つけた「町のひみつ」に興味を持ち、報告会の準備をしている。㊸</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が気付いた町の人 の工夫や思いを交流する。 (2) 本時 	<ul style="list-style-type: none"> ○整理した情報をもとに、自分 が伝えたいことと友達の考 えを比べながら、町の「いい ね!」を支えているものを見 出すことができるようにす る。 ○グループごとに表現方法が 異なることが予想されるた め、それぞれのグループに合 った準備となるよう個別に 支援する。 ○町への好感の高まりに気付 き、町の人温かい思いに溢 れた町であることを視覚で 捉えることができるように するために、学区地図に「い いね!」付箋を貼るようにす る。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆町の人の思いや工夫 が自分の町を支えて いることに気付いて いる。㊸ 	
<p>四 町 の よ さ を 広 め る (5)</p>	<p>【小単元の目標】適切な方法を考えて町のよさを伝えたり、これからの町との関わり方について考えたりすることができるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・町のよさをみんなに伝え る。 【グループ】(2) ・お世話になった町の人に 手紙を書く。 【グループ】(2) ・これまでの活動を振り返 り、町探検をしてきてよ かったことを話し合う。 【グループ】(1) 	<ul style="list-style-type: none"> ○子供の発表を撮影したも のを、町の人や保護者に見て もらい、感想を書いてもらう ようにする。 ○本単元の学習の様子を撮 っておいた写真を見ながら振 り返ることで、お世話にな った人を想起し、心を込めて 手紙を書けるようにする。 ○単元全体の活動内容を想 起し、学習を通して、町への 親しみや愛着をもつことが できたか振り返ることが できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆愛着をもった場所や 親しくなった人を振 り返りながら、自分が 知らせたい相手に知 らせている。㊸ ☆親しみを感じる人や 愛着のある場所が町 に増え、それらの人々 や場所が自分たちの 生活を支えているこ とに気付いている。㊸ ☆町の場所や人々への 親しみや愛着をもち、 町のよさを大切にし ようとしている。㊸

6 視点について

〈視点1〉子供が主体的に問題解決するための指導・支援の工夫

【町の人との関係づくりを自ら進めていく学習過程】

1回の町探検だけで、子供たちが町の人に親しみをもてるほどの十分な関わりをもつことは難しい。そこで、町探検に行く前に、町の人と手紙や動画でのメッセージのやり取りを行い、町探検のお願いをする場面を單元の中に設定した。子供たちは、知りたいことが同じで集まり、グループに分かれた後、そのことに詳しい町の人に教えてもらえるよう交渉する。そのために、まず、町の人が時間をつくって教えてくれるまでに仲良くなるには、どうすればよいか考えさせたい。子供たちは、これまで学習してきた、学校探検や一年生への学校案内の経験から、挨拶をする、自己紹介をする、お手紙を書く、名刺を渡す、といった方法を考えるであろう。さらに、「どのように挨拶をするのか」「何を伝えるのか」を投げかけ、印象がよい挨拶や言葉遣い、相手に自分のことを知ってもらうことが必要であることに気付かせたい。このように、学んだことを生かして町の人との関係づくりを自分たちの力で進めていく学習過程を組んでいけば、「町の人ともっと仲良くなりたい」「町の人を知りたい」という思いを高め、学習意欲の向上にもつながると考える。

【「町の人への思い」に気付くための体験活動】

子供が主体的に問題解決するためには、出会う対象と自分の生活との関わりを実感することが必要だと考える。そのために、町の「人・もの・こと」に対する最初の気付きから、町の人への存在に目を向けさせ、思いを深く知ることによって気付きを高めることができるようにしたい。そこで、探検場所は、次の三点を考慮して選んだ。

- ①子供たちに向けられた町の人への思いや工夫があること。
- ②子供たちがよく使い、見慣れている場所やものであること。
- ③町の人と交流して初めて知る事実があること。

子供たちは、町の人へのインタビューや、仕事・活動の体験を通して、気付かないうちに町の人にお世話になっていたり、温かく見守ってもらっていたりすることを実感できると考える。そこで、以下のように、町の人と深く関われるような体験活動を訪問先で行う。

【ものづくり・サービスの店舗】

和菓子屋、八百屋、文房具店、サンドウィッチ店、コンビニエンスストア、工作室

お客さんのために行っているサービスや工夫、職人の技を見せてもらったり、一緒に体験させてもらったりする。大変さや職人の技の素晴らしさを実感することで、苦労や手間を惜しまずに継続して行っていることのすごさ、町の人に喜んでほしいという思いに気付くことができるだろう。

【ボランティア・環境整備】

ZOZOの会社・広場、公園の清掃（子供会の方）、花壇の手入れ・風車作り（婦人会の方）

小学生や町の人に向けたボランティア活動について、活動時の写真を見せてもらったり、清掃や製作活動と一緒に体験させてもらったりする。ボランティア活動を行う喜びや大変さ、活動に至るまでの経緯を知ることによって、自分たちの生活が町の人々に支えられていることに気付くことができるだろう。

このように、学習が進むほど気付きが高まり、「もの」を通して町の人への思いや工夫、自分たちのために行ってくれている「こと」に関わっている「人」の存在に気付くことができるだろう。町の人への思いや優しさ、温かさが様々な「人・もの・こと」に形を変えて、自分の生活に結びついているという実感をつまみ重ねていくことで、次の学習活動への意欲や生活を豊かにしようとする態度につながると考える。

【「町のいいね！のひみつ」の設定】

単元を通して子供の意欲を持続させるためには、町のよさを探る学習活動の後の学習で、いかに「町のよさを広めたい」「友達に伝えたい」という思いをもたせるかが重要であると考えられる。そこで、探検場所を1グループ1か所に絞り、探検後にグループ内だけで気づきを共有することにした。他のグループの友達は知らない、自分たちだけが知っている状態をつくり出し、「町のいいね！のひみつ」と設定することで、子供たちは進んで情報を整理することができるであろう。町探検で得た町のよさを共有する場面では、グループごとに情報を整理する台紙1枚と付箋を渡す。ここでは、付箋を書かせるだけでなく、「なぜ」「どうして」という投げかけをしながら、そこには町の人を思う気持ちがあることに気付かせていきたい。

さらに、グループを回って指導する際には、驚きや感動に教師が共感し反応する姿を見せることで、「他のグループが調べていることが気になる」という気持ちを持たせたい。そうすれば、次の学習活動で友達が調べたことを聞いたり、自分が調べた町のよさを伝えたりする意欲を引き出すことができると考える。

〈視点2〉子供が協働性を働かせて問題解決する手立ての工夫

【ギガタブを活用した振り返り】

低学年の子供の発達段階や本学級の実態を踏まえると、相手の話を聞きながら思考し、メモを取ることを同時に行うことは難しいと考える。子供には、町の人と関わり、その人についてよく知ることを大事にして調査活動を行わせたい。そこで、各グループで数台ギガタブを持参し、撮影・録画機能を使って調査活動の内容を記録することで、活動後の振り返りや伝え合いで活用できるようにする。町の人のお話や作業の様子などを写真や動画等で再確認し、捉え直して友達と交流することで、自分の経験と友達の気づきを関連付けて考えたり、新たな気づきを生み出したりして、深い学びを実現することができると考える。

【付箋を活用した気づきの共有】

子供が協働性を働かせて問題解決するためには、個々の気づきを友達と共有し、比べたり、関係付けたりする場面を設定する必要がある。自分が気付いた町の人のおよしさや魅力について、以下の2つの場面で友達と考えを共有できるようにする。

「いいね！」を学区地図にまとめる

学区探検後に、見つけた「いいね！」と思うものや興味のあるものについて「人・もの・こと」で付箋の色を分けて書くことによって、考えを可視化し分類することができる。どの子供も考えをもって全体での話し合いに参加することができるよう、気付いたことや考えを付箋に書き表せていない子供には個別に声をかけていきたい。また、様々な視点の気づきや考えを引き出すために、付箋に書かれた個々の考えを教師が把握し、全体の場で意図的に指名することによって黒板に掲示した学区地図にまとめていくようにする。

朝の会「町のいいね！タイム」

朝の会に、前日の放課後や登校時に見つけた町の人のおよさを全体で共有する「町のいいね！タイム」の時間を設ける。「セーフティーウォッチャーさんが、『いってらっしゃい』と言ってくれた」「中学生のお姉さんが優しくしてくれた」というように、町の人のおよしさや魅力に気付く度に、地図に「いいね！」付箋を貼っていく。友達が見つけた町の人のおよしさを知ることで、自分が気付かなかった町の人のおよしさに気付くことができるだろう。また、日常の中でより一層「人」に視点を向けられるようになると考える。

<付箋の活用方法>

	貼る場所	付箋の形 色分け	ねらい
小単元 1	学区地図①	四角型 ・人→ピンク ・もの→黄色 ・こと→水色	・みんなが何に目を向けて、「町のよさ」と捉えているのかを共有し、町に興味をもたせるため。
小単元 2	グループ別の台紙 (同じグループの 友達だけで共有す る。)	四角型 ・人→ピンク ・もの→黄色 ・こと→水色	・発見した事象について共有し、共通している目的や理由を考 えることで、町の人を思う気持ちに気付くことができるよう にする。 例) もの: 季節に合った和菓子→お客さんに、秋を感じてもら えるようにするため。 ・自分のグループだけが知っている状態を「町のいいね! のひ みつ」とすることで、交流に向けた「友達にも伝えたい」と いう意欲を持続させるため。
小単元 3	学区地図②	ハート型	・学習を通して感じた町のよさを全体で共有するため。 ・友達の発表を聞いて、新たに気付いたり再確認したりした町 のよさを互いに共有するため。
常時 活動	学区地図②	ハート型	・町のよさを見つけようとする意欲を高め、よいところがたく さんある町であること視覚化し、実感させるため。

7 本時の指導

(1) 目標

見つけた町のひみつを伝え合い交流する活動を通して、町の人々の思いや工夫が自分の町を支えていることに気付くことができるようにする。(知識及び技能)

(2) この時間の目指す子供の姿

- 話し手は、探検先の人々の思いや工夫を伝えることで、町のよさに気付く。
- 聞き手は、自分の探検先以外の町の人々の思いや工夫を知り、それらが町のよさにつながっていることに気付く。

(3) 展開 (19/24)

時間	学習活動と内容	教師の指導・支援 (○) 評価 (☆)
0	1 本時のめあてを確認する。 ・学区地図や探検先の写真を見ながら、グループで見つけた「町のいいね!」を広めたいという気持ちをもつ。	○学区地図に貼られた付箋を見返し、町に親しみや愛着が湧き始めていることに気付けるようにする。 ○まだ、町には自分の知らない部分があることに気付かせるために、探検先の写真をいくつか見せる。 ○めあてを確認し、学習の見通しをもてるようにする。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> お気に入りの「町のいいね!」を伝えよう。 </div>		
5	2 「町のいいね! ほうこく会」をする。 ・伝え方や聞き方で大切なことを確認する。 ・グループごとに選んだ表現方法 (ペープサート、紙芝居、ポスター、クイズ) で「町のひみつ」を発表する。 ・2グループずつ3か所に分かれ、以下のように交流する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> ①前半グループが発表する。(4分間) ②聞き手は、質問をしたり付箋に感想を書いたりする。(3分間) ③聞き手と話し手が交代する(2分間) ④後半グループが発表する。(4分間) ⑤聞き手は、質問をしたり付箋に感想を書いたりする。(3分間) </div>	○移動の際には音楽を流し、楽しい雰囲気の中で移動し、次の交流を行う準備ができるようにする。 ○話し手が、伝えたい町のよさが聞き手に伝わっているか確認できるようにするために、聞き手は発表を聞いた後、感じたことを書いた「いいね! 付箋」を話し手側の台紙に貼るように伝える。 ○時間内に付箋に書いたり貼ったりするのが難しい子供は、授業後でもよいことを伝える。 ○各グループを回って声をかけ、聞き手が町の人々の人柄や工夫について掘り下げて聞けるようにする。 ○聞き手の子供たちに、町の人々の思いに気

【活動例】

アガパンサス・風車グループ



助田さんや奥田さんたちが、
緑町小の新一年生をお祝いす
るために、風車を作ってくれ
ているんだよ。

ぼくたちのために、作ってくれてい
たんだね。知らないところでお世話
になっているね。

ZOZO グループ



引っ越してきたばかりの会社
だから、町の人と仲良くなり
たいんだって。

去年は、服の生地で作ったマスクを緑
町小の子供たちにくれたね。ZOZO の
広場にも遊びに行ってみたいな。

ささや



お客さんが食べたいものを考
えて、定番の和菓子と季節に
合った和菓子を出しているん
だよ。

ぼくも買ったことがあるよ。いつも置
いている和菓子と季節限定の和菓子
があるなんて初めて知ったよ。

付かせるために、「なぜ」「何のために」
町の人とその工夫をしているのか投げ
かける。

21 3 中間報告をする。

- 話し手は、自分たちだけが知っている「町のいいね！」を伝えること、聞き手は、自分の探検先以外の町の人への思いや工夫を聞くことを再度確認するために、全体の場で、交流の様子を振り返る時間を設ける。
- 町の人の人柄や、工夫や努力の理由を意識して聞くことができるようにするため、それらに気付いている子供を取り上げて紹介する。

4 別のグループと交流をする。

【活動例】

今村商事グループ



私たちが学校で使っているマスのノートをいつでも買えるように、たくさんのノートの種類をそろえているよ。

だから、いつもノートを買い替える時に、みんなここに来るんだね。

緑町公園グループ



公園がいつもきれいなのは、子供会の人たちが月に2回、掃除をしているからだよ。

わたしも、今度おうちの人と一緒に、掃除に参加してみようかな。

西千葉工作室



町の人をもっと楽しい気持ちにするために、壊れてしまったものを作りかえる方法を町の人に教えているんだよ。

楽しそうだね。ぼくも、行っているいろいろなものを作ってみたいな。

40 5 全体の場で、町に対する思いや考えを発表する。



助田さんたちがぼくたちのために、風車を作ってくれていることを知って、とても嬉しくなったよ。



町の人ともっと仲良くなりたいな、と思ったよ。




お店の人が、町のみんなのことを考えて働いてくれていることが分かって、すてきな町なんだな、と思ったよ。



お家の人にも、町のすてきなところを教えてあげたいな。

- 友達を抱いた町に対する様々な思いや考えに触れられるようにするために、教師が付箋の内容を把握しておき、意図的に指名をする。
- 友達の話聞いて、町の人のおおかげで町が素敵であることに気付くことができた子供を称賛する。
- 「いいね！」付箋がたくさん貼られた学区地図に注目させ、自分たちの町に対する好感が高まっていることを視覚化し実感させる。

☆町の人のおおかげで自分の町を支えていることに気付いている。㊦

44	<p>6 次時の活動を確認する。</p>  <p>つぎは、町の人やおうちの人に「町のひみつ」を伝えたいな。</p>	<p>○「もっとたくさんの人たちに知らせたい」という子供たちの願いを大切にしながら、次時の活動を計画する。</p>
45		

【場の設定】

